

公益社団法人山口被害者支援センター  
令和4年度 事業報告  
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

第1 公益目的事業活動

1 被害者等支援事業

(1) 相談状況

- ・電話相談 63件 (前年度対比-77)
  - ・メール相談 1件 (前年度対比 -1)
  - ・面接相談 11件 (前年度対比 -5)
- 合計75件 (前年度対比-83)

(2) 直接支援

支援件数37件 (前年度対比+4)

公判付添い9件 (性被害5、傷害致死4)、弁護士付添い8件 (性被害2、傷害致死5、傷害1)、行政窓口付添い2件 (傷害致死2)、公判代理傍聴18件 (性犯罪14、傷害2、重傷交通事故2)

(3) 自助グループ(風の森)の活動

5月15日(日)の公開講座開催日に開催場所であるKDDI 維新ホールにおいて、第1回自助グループの会合を開催し、3家族4名が参加した。11月15日(火)の週間行事開催日に開催場所である「ルネッサながと」において、第2回自助グループの会合を開催し、3家族3名が参加した。

2 犯罪被害者相談員、直接支援員に対する研修事業

(外部会議・研修参加状況)

月日	研修内容	場所	研修参加者
9/3 ~4	令和4年度中国・四国ブロック質の向上研修上半期研修会	鳥取市	2名
10/15 ~16	秋期全国研修会	東京都	5名
2/11 ~12	令和4年度中国・四国ブロック質の向上研修下半期研修会	山口市	3名

中国・四国ブロック質の向上研修下半期研修会は、山口県での開催となり、当センターにおいて、会場等の諸準備を行い山口市のKDDI 維新ホールにおいて、2月11日(土)から12日(日)にかけ開催した。前日(2月10日)には、同会場において、中国・四国ブロックの事務局長等会議が開催され全国被害者支援ネットワークの奥山専務理事が出席、来賓として、県警察の田中県民課長による講演が行われた。2日間の研修では、体調不良等による事前の欠席者もあったが、19名の研修参加となり、当センターから3名の支援員が参加した。鶴理事長の講義も行われ、研修参加者や関係者等から「会場も良く、準備等もしっかりされていた

ので大変良い研修が出来た」との好評を得た。

ステップアップ研修は、11月から3月にかけて、週間行事の犯罪被害者ご遺族の講演を第1回とし、山口県公認心理師協会理事、山口赤十字病院第二産婦人科部長、山口県男女共同参画相談センター所長、法テラス山口事務局長を招聘した研修を5回実施した。

### 3 公開講座と養成講座の開催

令和2年度と令和3年度は、コロナ禍により開催中止となったが、令和4年度は、入門講座の第1回として、5月15日（日）にKDDI 維新ホールにおいて、女子高生殺人事件被害者ご家族、北口忠氏の講演による公開講座を行い、8月にかけて入門講座2回、初級講座7回を実施、支援員の養成を行った。養成講座の受講者は9名、インターン希望者は3名となった。

### 4 広報・啓発活動の実施

県下5市2町において開催した犯罪被害者等支援ミニパネル展や「命の大切さを学ぶ教室」、  
「命の講座」、賛助会員や寄付型自販機の新規獲得活動等において、機関紙、リーフレット等を配布し、センターの周知や支援の重要性、必要性等について広報・啓発活動を行った。

#### (1) 「命の大切さを学ぶ教室」の実施

中学校・高校を対象に11回実施（参加者合計4,711名）

場 所：県内の中高等学校

対象者：生徒、教職員、保護者等

内 容：授業等において、犯罪被害者等の心情を理解するとともに被害者への配慮と協力への意識を涵養し、犯罪に対する規範意識の向上を図る。

\* 防府市の委託事業である「命の授業」は要請なし。

県警察委託事業「命の大切さを学ぶ教室」

	月日	学 校 名	講師名	講演種別	人数
1	4/13	下関市立東部中学校	松田洋子氏	いじめ 多様性等	600
2	4/13	下関市立長成中学校	中谷加代子氏	殺人事件	240
3	4/13	下関市立豊北中学校	小森美登里氏	いじめ等	124
4	4/13	下関市立安岡中学校	木村緑氏	交通事故	415
5	5/12	宇部工業高等専門学校	松田洋子氏	いじめ等	1100
6	7/8	宇部市立桃山中学校	松田洋子氏	デートDV いじめ等	130
7	7/12	小野田工業高等学校	松田洋子氏	いじめ等	330
8	9/14	宇部商業高等学校	松田洋子氏	いじめ 風評被害等	373
9	10/6	柳井市立中学校	中谷加代子氏	殺人事件	640
10	10/27	柳井高等学校	松田洋子氏	リベンジポルノ等	439
11	1/23	岩国工業高等学校	松田洋子氏	いじめ 多様性等	320
合 計					4711

～「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール～

「命の大切さを学ぶ教室」を受講し、若しくは多様な機会に大切な命を守ることについて

考えるなどした全国の中学又は高校生が応募資格

山口被害者支援センター理事長賞（犯罪被害者週間行事のルネッサ長門で表彰）

高校生の部 山口県立宇部商業高等学校 網田琴菜 さん

中学生の部 下関市立長成中学校 笠松宥希 さん

## (2) 「命の講座」の実施

職場、団体、グループ、大学等を対象とした講座を11回実施

(参加者合計512名)

県警察委託事業「命の講座」

	月 日	団 体 名	講師名	講演種別	人数
1	6/21	宇部工業高等専門学校（教職員向け）	小森美登里氏	いじめ防止	160
2	9/7	周南市教育委員会 人権セミナー	木村緑氏	交通事故	45
3	11/7	周防大島町教育委員会	中谷加代子	殺人事件	50
4	12/5	JA 長門統括本部	西山幸雄氏	被害者支援	20
5	12/6	JA グループ山口	西山幸雄氏	被害者支援	20
6	12/9	宇部興産海運(株)	松本里奈氏	交通事件	60
7	12/21	宇部市隣保会館	田中事務局長	被害者支援	27
8	12/27	JA 長門総合病院	西山幸雄氏	被害者支援	20
9	2/10	岩国刑務所	松本里奈氏	交通事件	25
10	2/17	JA 美祢統括本部	西山幸雄氏	被害者支援	20
11	2/20	防府市役所	田中事務局長	被害者支援	65
合 計					512

## (3) 「犯罪被害者週間行事」の開催

開催日：令和4年11月15日（火）

場 所：長門市「ルネッサながと」

対象者：一般市民等約250名 オンライン参加約10名

講演会：講師 強盗殺人事件ご遺族 松井克幸氏

演 奏：ちひろミニコンサート、県警音楽隊演奏

市長表敬訪問等により市担当課による動員協力や県、県警察の協力等により、多数の会場参加となり、特に地元中学校（約130名）の参加など命の大切さや支援の重要性、必要性を幅広い年齢層に広く訴えた。

## (4) 「犯罪被害者等支援ミニパネル展」の開催

令和3年4月に山口県被害者等支援条例が施行されたことに伴い、県の委託事業として、8月から3月にかけて、阿武町町民センター、萩市役所、柳井市文化福祉会館、西田布施公民館、山陽小野田市役所、周南市学び・交流プラザ、下関市生涯学習プラザの7か所において犯罪被害者等ミニパネル展を開催し、センターの周知や支援の重要性、必要性について広く県民へ広報した。

(来場者約360名)

#### (5) 「相談窓口担当者研修会」

県の委託事業、市町の犯罪被害者相談窓口担当者等を対象とした相談窓口担当者研修会を8月30日（火）、山口県庁において開催。武庫川女子大学から大岡由佳准教授によるオンライン研修を実施。（参加人数25名）

目的：市町の犯罪被害者に対する総合的対応窓口対応の向上

講義：「犯罪被害者等の現状と支援制度の概要」 県民課志馬補佐

講義：「犯罪被害者等支援の重要性とセンターの役割」 田中事務局長

講演：「犯罪被害者等支援とは」 大岡由佳准教授

#### (6) 犯罪被害者等支援条例の制定・改定に向けた取組

岩国市が条例制定のための意見を聴く会を開催（7月、11月）、下松市も条例制定のための検討委員会を開催（8月、9月、10月）、いずれも当センターから田中事務局長が委員として出席した。議会議決を経て4月1日施行。美祢市も4月1日に特化条例を施行。

防府市は、時代に見合う条例とするため、防府市犯罪被害者等の支援に関する検討会を開催（3月、6月、10月）、当センターから田中事務局長、松永相談員が出席した。令和5年4月1日に改定条例施行。

#### (7) 各種広報の実施

田中事務局長の地元ケーブルテレビ出演による公開講座や養成講座の開催、センターの役割等の広報により、センターの認知度の向上を図るとともに寄付型自販機設置事業者に対する感謝状贈呈の際のパブリシティを活用した広報等を積極的に行った。

また、週間行事開催の事前広報をフジ長門店において行うとともに、5月15日（日）阿知須きららドームで開催された県警察視閲式の会場及び10月8日（土）山口きらら博記念公園において開催された「ゆめ花マルシェ2022」の会場において、パネル展示や当センターのチラシ等を来場者に配布し、広く県民にセンターの周知や支援の重要性、必要性を訴えた。

その他、山口市「七夕会」の山口市及び首都圏の会員約400名に対し、当センターの機関紙及び賛助会員募集チラシをDM発送（法人会員として入会のため七夕会から発行・事務局は山口市役所）し、センターの周知と賛助会員の募集を行った。

#### (8) ホームページ等広報媒体の充実

ハートライン通信等の紙面による広報を行うとともに、ホームページを随時更新し、活動状況の紹介や犯罪被害者等への支援に関する情報の周知、徹底を図った。

### 5 安定的活動資金の獲得

#### (1) 賛助会員の獲得

県民及び企業、各種機関・団体等を対象とした広報・啓発活動を行い、県警察の積極的な獲得活動の後押しにより、前年度を上回る賛助会員の獲得となった。

正会員数44名（前年度対比+4）

賛助会員（団体）総数160団体（前年度対比+6）

賛助会員（個人）総数100名（前年度対比+6）

## (2) 委託事業の獲得

県警察からの委託事業（人件費、電話・面接等相談、直接支援、広報・啓発業務等）については、令和2年度から一般競争入札となり、入札の結果、7,590,000円（消費税込み）で契約。

県の委託事業である犯罪被害者等支援ミニパネル展については、随意契約1,199,704円（消費税込み）により単年度契約。3年間で県内の全市町において開催（令和5年度で終了）

## (3) 預保納付金支援事業費

日本財団から助成される預保納付金支援事業費は、

被害相談員を育成する人権費1名分 3,000,000円

養成研修・スキルアップ研修運営費 880,000円

総額 3,880,000円

が認定、交付された。

## (4) 寄付型被害者支援自動販売機の設置

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との連携（SDGs経営、ES・企業価値向上）や県警察による広報（管内事業所の紹介や安全運転者管理者講習参加事業所《年間約6,000事業所》へセンターが作成したチラシ《支援自販機設置依頼チラシ6,000枚》の配布）による新規設置事業者の獲得の他、感謝状贈呈の際のパブリシティを活用した社会貢献度の広報により県内事業者への設置拡大を図った。

寄付型自動販売機設置台数199台（前年度対比+44）

## (5) 赤い羽根「県域」テーマ募金の募集

山口県共同募金会の「県域」テーマ募金を昨年度に引き続き申請し、令和4年度のバス車内ポスター掲示費、機関紙発行費、ボランティア運用費、研修・講座等のオンライン化費用として

目標金額60万円

で認定を受け、令和4年1月から3月までの間、募集活動を行った結果

募金額421,889円（達成率70%・令和4年度活用）

の募金を得た。

## (6) ホンデリング事業

ホンデリング事業については、広報活動等によりホンデリング事業の支援の輪を広げた。

12月末実績 1,615冊 24,537円

## (7) おいでませ募金（ワンクリック募金）の実施

当センターのホームページへのバナー掲載によるリンク回数単位での企業募金の募集。

支援企業 7団体 募金総額252,000円

## 第2 令和4年度収益事業

県警察本部犯罪被害者支援室の協力のもと、自動販売機業者との連携を密にし、収益事業の促進強化を図った。

収益型自動販売機設置台数41台（前年度対比+3）

県警察31台、一般10台